

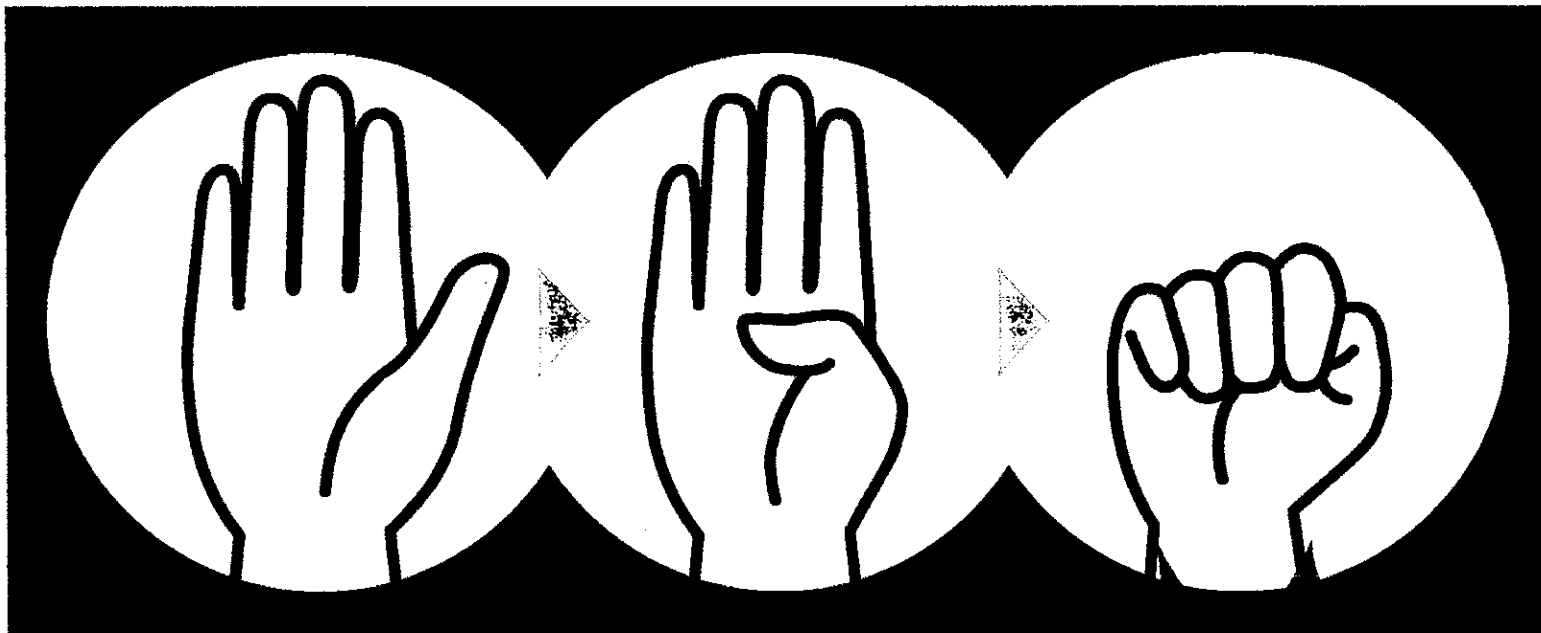
きけん し あたら ほうほう
危険を知らせる新しい方法

ヘルプミー・ハンドサイン

世界で共通

をしっていますか？

ねんれい せいべつ こくせき しょうがい うむ
年齢・性別・国籍・障害の有無にかかわらず
いつでも・どこでも・だれでも今すぐ使える



サインの出し方

- 1 手のひらを見せる
- 2 親指をまげる
- 3 親指をかくす

たすけて!

ヘルプミーハンドサインの動画は、ユーチューブ、ツイッター、フェイスブック、ティックトックなどで、詳しい内容を見ることができます。

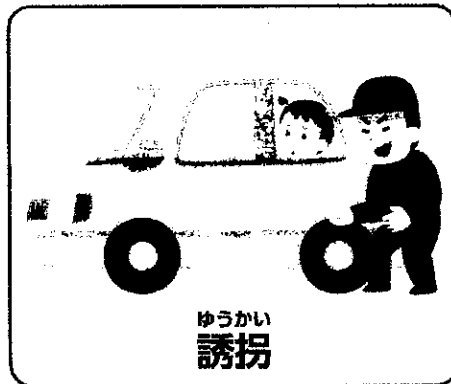


ヘルプミーハンドサインとは・・・

危険な状況に置かれた時、大声をあげたり、防犯ブザーを鳴らすなどして、周囲に助けを求める必要があります。しかし、緊急場面では恐怖心などから声を出すのは容易ではないばかりか、声をあげたために返り討ちにあったケースも少なくありません。ブザーは持っていないければ使うことができないのです。声や音によらず、道具を持っていない時でも加害者に知られずに第三者に危険を知らせることができれば、助かる命が増えます。また、発語のない障がいをもった子どもでも、SOSを発信できるのが、ヘルプミーハンドサインの特徴です。カナダの女性団体がDV防止のために考案しました。日本でも認知度が高まっています。

加害者に知られずに助けを求める

！こんなときにハンドサインを使おう



DV・痴漢 など



！ハンドサインに気づいたら

ハンドサインでSOSを伝えている人に気づいたら、サインを受け取ったことを知らせる合図を送り安心してもらいます。その上で、周囲の人と状況を共有し、必ずしかるべき人や機関に伝えます。

虐待や誘拐、いじめなどのほかにも、場面別にハンドサインの有効な使い方、ハンドサインに気づいた際の具体的な行動方法などを実践的に被害者・傍観者にならない予防教室を行っています。子ども向け、大人向け、親子講座がありますので下記へご連絡ください。



特定非営利活動法人 日本こどもの安全教育総合研究所 (理事長：宮田美恵子)

東京都文京区湯島 3-19-11 ファーストビル 4F シード内



ヘルプミーハンドサイン普及啓発および傍観者にならない被害予防教育研究会 担当：雨宮
ホームページ：<http://www.kodomoanzen.org> / メールアドレス：sato@kodomoanzen.org